

第9回 町田市立学校の新たな学校づくりのあり方検討部会 議事要旨

開催日時	2021年1月19日（火） 18:30～19:40	
開催場所	リモート会議	
部会員 (出席者)	委員	山口勝己、末吉泰子、鴨河貴史、相澤真理、関根美咲、岩切洋一、高橋博幸
	職員	（学校教育部） 北澤学校教育部長、小池指導室長、田中教育総務課長、是安教育総務課担当課長、浅沼施設課長、田村学務課長、有田保健給食課長、林教育センター所長、鈴木教育総務課総務係担当係長、菅野施設課主任 （財務部） 武井宮繕課長 （庶務：教育総務課総務係） 中野主任、京増主任 （策定支援：株式会社豊建築事務所） 田中秀朗、奥澤信之
審議内容	①普通教室の面積について※小学校35人学級への対応含む ②諸室の構成及び規模の標準について ③容積率超過及び屋外運動場面積不足への対応について	

議事要旨（敬称略）

1 開会

山口部会長 （開会宣言）

2 会議方法について

教育総務課 （リモート会議での開催についてと発言方法の説明）

3 普通教室の面積について ※小学校35人学級への対応含む

豊建築事務所 （資料1、2の説明）

山口部会長 教室の大きさに関して、以前議論した面積に比べて、小学校においては1学級の人数の減を基にして小さい案を、中学校も、机等のレイアウトを見直すことによって、以前は84㎡で検討していたけれども、80㎡でもかなり十分な面積が確保できるのではないかとのご説明をいただいた。こちらに関して、ご意見をいただきたい。

岩切委員 特に異論はない。これでいいんじゃないかと思う。

高橋委員 私も異論はない。これでいいと思う。

関根委員 私も基本的に異論はない。中学校の場合は特に収納が問題だったので、教室の中にしっかり入れていただいて、その幅もしっかり取れているので、空間を考えても、今、子どもたちが持ってきているかばんやコート、そういったものも十分収納できると思う。これでいいと思う。

相澤委員 私も、皆様が議論を重ねてきた結果がこれだということで、異論はない。とてもいいと思う。

鴨河委員 自分も異論はない。これでお願いしたい。

山口部会長 それでは、末吉委員はまた後でご意見をいただくということで、基本的に、普通教

室の面積に関しては、当然広いほうがいろいろな活動において有利ということはあるけれども、やはり全体面積を積み上げる上では、教室の面積というのはかなり影響するので、図面で確認して、小学校において72、中学校において80ということにさせていただきたいと思う。

4 諸室の構成及び規模の標準について

教育総務課 (資料3～5の説明)

山口部会長 諸室の構成表、それから、他校との比較も示していただいた。確認事項、今の資料5に基づいてご説明があった。資料が3種類あるので、こちらに関してご意見をいただければと思う。いかがか。

諸室構成に関しては、今までの議論に基づいて、それを集約したということになっている。面積等、決まっていない部分に関しては目安の値を入れて全体面積を算出しているということだった。いずれの部分でも、ご確認ということでも、ご意見、ご質問などがあれば積極的にお願いしたい。

関根委員 多目的ホールについて、今、このコマ数をそれぞれ拝見しているが、これはちょっと狭いような気がする。もう一つ、プラスワンずつぐらい欲しいかなとは思う。実際活動することは、小学校は学年で集まるようなことは多々あり、中学校でもある。具体的には、体育祭や運動会のダンスの練習だとか、振りつけを全員で確認するとか、学芸会の練習。お話を座って聞くだけならこのスペースで大丈夫だと思うけれども、中学校でも、立ったり座ったりの活動をするようなことがあった場合に、これで十分な活動ができるかなというふうに、ちょっと思っている。皆さんのご意見をお伺いしたいと思う。

山口部会長 多目的ホールの面積について、いろいろ検討した結果として、この値が出てきているけれども、こちらの面積について、できれば補足説明をお願いしたい。

教育総務課 基準面積自体が広がっていて、小学校で言うと72㎡、中学校で言うと80㎡を基準にしている。例えば、中学校の18学級のところで、80×4で320㎡というと、体育館アリーナの半分程度の広さにはなる。こちらについては標準面積が上がっているので、その点も踏まえたコマ数としてご検討いただけたらと思う。

関根委員 理解できた。広がっているので、そうしたら何とかなるかと思う。

山口部会長 基本としては64から72ということで1割以上広がっているということと、あとは、1学級の人数が35人になっているということの両方合わせて見れば、当然そんなに広いわけではないけれども、集会はできるのではないかと、こちらの面積を算定したということで考えていただければ。

教育総務課 職員室周りについては、学校の先生方からご意見があれば確認しておきたいと思うので、両校長先生からご意見をいただければと思う。

山口部会長 確認事項の4、職員室のコマ数についてということで、岩切先生、高橋先生、お願いしたい。

岩切委員 特段意見はない。

高橋委員 私も意見はない。

山口部会長 職員室に関しては、実際、コマ数を算定するときに図面に基づいて検討しているので、特段それで問題がないということを確認していただいた。ほかはいかがか。特に確認事項である、特別教室の学級数の目安、それから、特別教室の基準とする面積、今回72と80ということで面積を広げたということだけれども、その辺の確認事項2、3あたりでご意見があればお願いしたい。

特別教室の学級数について、1教室もしくは2教室とあるけれども、実際には、その中間的な学級数の場合、どうするかということも出てくるかと思う。今回の資料では、その辺の18と20の間、もしくは12と18の間という値は出てこないと思うけれども、その辺の目安について、何か情報などあればお願いしたい。

小中の高橋先生、岩切先生のほうで特別教室の目安などに関して追加情報などはいかがか。実際、これは部屋の利用率をどのくらい見るかということで、時間割の組みやすさとか、そういうことで確定しない部分はあるかと思うけれども、岩切先生、高橋先生、もし何かあれば追加でお願いしたい。

岩切委員 特にないけれども、例えば、午前中が4時間掛ける今の週5日制ということで5日分となると、午前中のコマが20コマ、さらに小学校の場合、委員会活動、それから様々な会議によって6時間目まで設定できるのが大体週3日、火、木、金と考えた場合に最大で26コマということになる。

その中で図工とか音楽を2時間ずつ取っていくとなると、13学級までしか対応できないんじゃないかなと思う。そうすると、仮に各学年3学級で計算していった場合だと、24コマあれば足りるけれども、3年から6年までのうち、どこかの学年が1クラス多くなると、それでもうマックスかなと。19学級までは何とか時間割の編成上、2時間ずつ組めると思うが、20学級になったら、もう無理かなというふうに思う。

山口部会長 中学校のほうでも12は、結構ぎりぎりの感じか。

高橋委員 12だとこれでいいと思うけれども、13からは、やはりちょっと厳しいかなというふうに思う。

山口部会長 この辺は文書の中では出てこないけれども、結局その辺の1から2に上げる学級数というのは結構少ない段階で検討しなくてはいけないということだと思う。実際の計画のときには、その辺を留意する必要があるというふうに思う。

こちらの情報に関しては、特に文書には明記がされないということでもよろしいか。

教育総務課 こちらは実際に整備を進める場合の確認事項として挙げたので、本文中に謳う内容ではないと思っている。

山口部会長 確認の3に関しては、基準となる教室の大きさに関しても、教室の大きさに連動して、小学校72、中学校80ということで面積を広げて特別教室も整備するという案になっている。こちらも連動して広げるということで、多分、皆さん、ご賛同はいただけていると思うけれども、こちらのほうは広げる必要はないというようなご意見などがあればお願いしたい。よろしいか。

それでは、ご賛同いただいたということにさせていただきます。

今、4項目に関しては明記されていたけれども、これら以外のことに関して確認する必要があるという事項があればお願いいたしたいと思う。いかがか。

特にご意見がないようなので、こちらの内容に関しては以上とさせていただきたくれども、よろしいか。かなりこれまで議論したものを積み上げていることなので、これで確認したということにさせていただく。

末吉委員 みんなで意見を積み上げてきた結果、いい案が出たと思う。問題ないと思う。

山口部会長 それでは、諸室の構成及び規模の標準に関しては全員ご賛同いただけたということを確認させていただいた。

5 容積率超過及び屋外運動場面積不足への対応について

教育総務課 (資料6の説明)

山口部会長 それでは、こちらの資料6の内容について、ご意見がある方は、マイクをオンにしてご発言をお願いしたい。ご意見以外でも、ご賛同いただける場合でもご発言いただければと思う。

末吉委員 今回の面積を積み上げた場合に、統廃合先の学校においてどのくらいの学校が条件を満たせないのかというのを教えて欲しい。

施設課 今ある町田の62校の中で、容積率80%のところ、これが小学校で12校、中学校が6校、容積率が100%の指定のところは小学校17校、中学校8校ある。その中で、今回、小学校でいけば24教室あって、オープンスペースあり、体育館、プール附属棟を含めて標準的な面積が1万2500㎡ぐらいで、それが入らない敷地が4校あった。中学校については18教室、体育館、プール附属棟を含めて約1万1000㎡だけれども、そちらのほうが入らない敷地については、中学校は1校。

ただし、こちらのほう5校については、全てがその最大数入るわけではないので、数的にいけばそれほど多くはないかなと思っている。

山口部会長 実際、そういう学校も存在するけれども、それほど数としては多くはないという話で、面積不足への対応というのは、それほど多くの学校で起きるわけではないということだと思う。

末吉委員 それを踏まえた上でちょっと教えていただきたい。条件を満たせない学校がある場合に別の対応をするという考え方で間違いないか。

施設課 そういった学校が出た場合、この資料6のような形でいろんな部分をシェイプアップというか、少しずつ削ったり、統合可能な部屋については統合したりとか、そういう考え方で、基本的には必要なものを減らすということではなくて、スリム化していくという考え方で対応できるのではないかと考えている。

鴨河委員 資料を今見ているけれども、私も昨日までいろいろ考えていたこともあったが、大枠で言うところ、よくできていると思う。このスペース超過についての対応においては、落としどころになっているのかなと思っていて、先ほどご説明もあったように、数が少ないとか多いとかはあまり関係ないけれども、やっぱりもうスペースがどうしてもできないのであれば工夫をするしかない。今書かれている5項目につい

と、あと運動場の面積についての対応の指針についても、致し方ないかなというところで、落としどころかなと思っている。

山口部会長 ほかの方、何でも結構なのでご発言いただければ。

相澤委員 本当に議論を重ねてきた。普通教室や多目的ホールを最大限にできる限り大きくしたいということがちゃんとここに含まれていて、とてもいい考え方だと思う。

1つ伺いたいのは、「(1)から(5)の方法を組み合わせる」というふうになっているけれども、どれとどれを組み合わせるかっていうのはどこの判断で、どのように行われるのかを教えてください。

施設課 こちらは、各学校の敷地形状や面積、それから、近隣の状況等があるので、各校の設計の段階で、どうやったら、一番今回検討をした案を生かしつつ建設が可能なのかを実際の設計の中で見ていくことになる。

山口部会長 個々の学校において、検討をどのように進めるかということ、その個々の学校の検討において、恐らくいろいろな方の、先生方とか、地域住民とか、保護者の方とか、ある程度そういう方のご意見なども聞きながら決めていくことになるのではないかとと思う。

関根委員 校舎と運動場と体育館の広さは十分な確保が必要で、足りない場合は工夫をしていくという形で理解をしている。ちょっと気になっているところが、駐車場と駐輪場。敷地に十分な余裕がある場合は別としても、体育館を重層化した場合に1階に駐車場をつくるのはいかがかということをご提案したいと思っている。

今後はコミュニティスクールも始まり、地域の方もたくさん学校へお越しになることになる。災害時は多くの人々が物資の搬入で車の出入りもすごく多くなると思う。先日もニュースで、阪神・淡路大震災とか東日本大震災のときや、最近では、台風の災害のときも避難所にはたくさんの車両が出入りしている。これからも大きな地震があるかもしれないという中で、いま一度、駐車場の問題を考えなくちゃいけないんじゃないかなと思っている。

災害ばかりでなく、今の現状で多くの町田市の学校の場合は交通がすごく不便で、バスもあまり通っていないようなところもある。PTAの集まりや、外部からの来客時、あと外部のボランティアさんがたくさんいらっしゃる時は、今現在も駐車場が圧倒的に不足している。特に中学校は働いている親も多いので、面談のときも仕事帰りで、皆さん、お時間がないので車で来られるという方も多い。どうしても止められないときに、ちょっと学校の近くに駐車してしまって近隣とのトラブルになっている学校もある。

このような実情も踏まえて、駐車場の場所の確保について、いま一度ちょっとご検討いただけないかと思い、申し上げた。

山口部会長 駐車場、駐輪場の問題は、学校の敷地利用の上では非常に重要。あと、地域住民と児童・生徒の利用場所の境界のセキュリティーの問題なども関連して非常に重要な問題だとは思う。こちらに関していかがか。

施設課 現状、古い学校は、明確な駐車場というものは整備していない。新しい学校で、図

師小学校、鶴川中学校、小山中央小、町田第一中学校については明確な駐車場を設けている。以前は学校の先生が車で通勤したり、搬出入車両、それから、特別支援学級の肢体不自由の送り迎え等で、基本的には車は入っているけれども、明確に駐車場の整備はあまりされていなかった。

ただ、今後については、おっしゃるとおり、確実に車は入ってくる。基本的に、車が入る部分は生徒との動線の交差はあまり望ましくないので、駐車場を明記した上で、安全上、それから、先ほど言われた防災上、そういったものに活用できるような明確な設定が必要になってくると考えている。

山口部会長

以前の学校では考慮されていなかったけれども、近年建設されている学校ではつくってきているということなので、これからの改築校ではある程度その辺に関しても、それほど大きい面積を確保することは難しいけれども、計画に盛り込むということになるのではないかと思う。

体育館の下というの、案としては確かに検討すべきことだと思うけれども、体育館の下にというのと、動線の分離の関係で難しくなる可能性もある。ご意見としては重要だと思うけれども、なかなかこういうところに盛り込むには難しいと思っている。

末吉委員

駐車場の件に追加で、統廃合されたら、今の中学校は当然小学校よりも数が少ないので、かなり広域からお子さんたちが登校していると思うけれども、それと同じように小学校も遠方からというか、広域での通学になると思う。中学生に比べて体の小さい子どもたちが通学していく上で、バスが、公共交通機関を使って登校するのか、そういった場合に乗り遅れたという、往々にして親が送っていくというケースも十分に考えるので、その辺の配慮はやはり必要なんじゃないかなというふうに思う。

山口部会長

駐車場の問題は非常に重要。次回、駐車場問題に関しては、この文書ではどのようにするか。

教育総務課

1度事務局で預らせていただいて、次回改めて整理した形で提案したいと思う。

山口部会長

それでは、駐車場等の敷地の利用に関しては次回検討するというにさせていただきます。

こちらの資料6の内容に関しまして、ご意見があればお願いしたい。

岩切委員

基本的には、もうこれでいいかと思うけれども、2点、気になっている。

まず、容積率超過への対応の仕方というところで、1番、3番、4番というのは割と検討しやすいと思うけれども、2番と5番は、コンセプトが全く違うんじゃないのかなというふうに思っている。

オープンスペースを整備せず、普通教室、多目的ホールというのを優先するのか、それとも、とりあえず面積的にオープンスペースは可能だから下の部分の諸室の面積を縮小するのか。その場の状況に応じて適切な判断をしてくださると思うけれども、1、3、4というのは割と技術的なものに対して、2と5というのは何となくコンセプトが違っているような気がしないでもないので、ちょっと気にはなっている。

ただ、そこはここで議論しなくてもいいのかなというところ。

あと一番大きいのは、やっぱり運動場の面積、言ってしまえば、ここで示されているのは、1番は容積率超過への対応ということだけれども、要は、建物の延べ床面積、それと運動場の広さの関係というところは、ここでは見えてこないのかなと思っている。

運動場の最低面積を出すのは難しいと思うけれども、要は、学校敷地内において言うと、同じ延べ床面積を考える場合でも、いわゆる校舎と体育館と、それから運動場という、この3つの中でのプライオリティーをどうやっていくのか。そこに関しては、とりあえずこれはここにしておいて、その場その場において判断するという認識でよろしいか。そこがちょっと気になっている。

施設課

まさに岩切先生の言われたとおりで、実際、今の段階では、この床面積が出たから校庭面積が何㎡取れるという、ちょっとその数については言いようがない。実際、敷地の形状、大きさ等によって、設計によってどれくらい取れるのか。ただ、それについては過去の校庭面積を標準に見ていただいて最大限できる面積を確保するという趣旨でしか、ちょっと言いようがないと思っている。

施設課長

もう一点、追加させていただくと、別途、学校の位置ということで、審議会のほうで話を詰めているところだけれども、新しい学校の候補地としては、できるだけゆとりのある学校で、使いやすく、広い学校を優先的に考えていこうという意見もあるので、比較的広いところを中心に学校を再編していくという大きな流れの中での対応になるかなと思っている。

鴨河委員

今のご意見をいただいて、適正配置・適正規模の審議会があると思うけれども、広さの面積を確保する前提でお話しされていると理解していいか。それとも、無理くり押し込んだような場所もあるということか。

施設課長

審議会では、学校の施設として、先ほど申したとおり、できるだけ使いやすい、広いところを使っていくのがいいという考え方。一方で、児童・生徒が通学しやすい場所ということもかなり重要な点なので、そこのところで審議が進んでいるという状況。

鴨河委員

1万1000㎡の広さ、ないし容積を確保する前提で配置を決めて、規模を決めてというところでいいかどうか。

教育総務課

結論だけ申し上げますと、1万1000㎡が入る土地かどうかという条件で候補地は探していない。もともと学校があるところや、公共で土地を既に用意できているという場所、別の用途で使っている場所など、そこから探していくことになる。

その地区の中で、今、施設課長が申し上げたように、比較的ゆとりがある、面積が大きい、形状がよい、法的条件として整っているところを極力選んでいこう、通学のしやすさとバランスを取りながら考えていこうという議論を審議会本体では一生懸命委員さんにしていただいている。1万1000㎡取れるかということでは議論はしていないけれども、できるだけゆとりがある条件の候補地を選んであげたいという気持ちで審議会のほうでは議論が進んでいる状況にある。

- 山口部会長 場合によっては入らない場合も、あり得る可能性があるけれども、その中でできるだけ広い敷地を選定しているということだった。よろしいか。
他にご意見があればお願いしたい。
- 高橋委員 ここに書いてある容積率超過への対応、それから、運動場面積不足への対応、この考え方で私はいいのかなというふうに思っている。
また、個々の学校への意見を聞いてというところで、今後、町田市の小中学校はコミュニティスクールがスタートするので、学校、それから地域、こういった皆さんと検討しながら進めていけばいいのかなというふうに思っている。
- 山口部会長 先ほどの岩切先生のご意見で、確かにこの5項目のウエートづけというのが、特に(2)と(5)のどちらを優先するのかが、やはり個々の学校の計画においては迫られる部分は確かにあるかと思う。できるだけ個々の学校のとときにいろいろな方から意見を集約できて決められるような仕組み、個々の学校の計画プロセスに関しても、できるだけ検討していただければというふうに思う。
大体皆さんご発言いただいたということでよろしいかと思う。本日予定されている議題は以上で終了とさせていただきます。よろしいか。
- 各委員 「異議なし」の発言あり。

6 第10回検討部会開催概要

教育総務課 (第10回開催概要説明)